



2025 年 8 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 ストレージ王
代 表 者 名 代表取締役 荒川 滋郎
社長執行役員
(コード番号：2997 東証グロース)
問合わせ先 執行役員 松田 次郎
管理部長
TEL. 047-314-1981

ストレージ王、梶が谷トランクルームにてブックオフ「R-L00P」を活用した衣料品等リユース
およびリサイクルの推進を POC として 9 月 1 日より 1 カ月間実施

～トランクルーム利用者の利便性向上と不要品循環による SDGs 貢献を目指す～

トランクルームに関する企画、開発、運営、管理業を行う株式会社ストレージ王(本社：千葉県市川市、代表取締役：荒川 滋郎、証券コード：2997、以下「ストレージ王」)は 2025 年 9 月 1 日より 1 か月間、神奈川県川崎市の「梶が谷トランクルーム」で、ブックオフコーポレーション株式会社(以下「ブックオフ」)と株式会社 BPLab(以下「BPLab」)が共同運営するボックス型不要品回収システム「R-L00P(アールループ)」を活用し衣料品等リユースおよびリサイクルの推進の POC(概念実証)実験を実施いたします。

R-L00P は既に自治体、商業施設、マンション、オフィスなど多様な生活拠点で活用されていますが、店舗型トランクルーム「収納と生活をつなぐ場」での導入は今回が初めての取り組みです。これにより、収納と不要品循環を一体化した新たな生活動線の創出を目指します。



○背景と目的

「R-L00P」は、ブックオフと BPLab が共同運営している循環型衣料品・雑貨品回収サービスです。不要になった衣料品・雑貨類をボックスに入れるだけで、リユースやリサイクルにつなげ、寄付にもつながる循環型プラットフォームです。国内 6 拠点のヤードで回収品を選別し、海外リユースや再資源化に展開される仕組みで、既に 200 を超える拠点設置、累積回収重量は 27 トンを突破しています。

契約者の皆さまにとっても、「手放す」という行為そのものが、新たな体験価値となります。思い出の詰まった衣料品や雑貨を“捨てる”のではなく、“次の誰かの役に立つ形”で手放すことで、モノの循環が小さな社会貢献や心地よさへとつながっていきます。

「大切にしてきたものを、次へとつなぐ」
「捨てるのではなく、別の選択肢を選ぶ」

こうした体験を日常に取り入れることで、契約者の皆さまに単なる収納や処分を超えて、リユースという新しい生活様式を気軽に実感いただける場を提供し、トランクルームの利便性 × 不要品の循環促進という新たな価値創出を目指します。

R-L00P ホームページ：<https://www.rloop.jp/>

○実施概要

実施場所：ストレージ王「梶が谷トランクルーム」（神奈川県川崎市高津区梶ヶ谷 5-6-4）

店舗詳細：<https://www.storageoh.jp/search/detail/1416>

実施期間：2025 年 9 月 1 日～9 月 30 日（1 カ月間限定）

内容：

- ・トランクルーム 1 階の入口のエントランススペースに「R-L00P」回収ボックスを設置。
- ・トランクルーム契約者に対し、不要品（衣類・雑貨等）の投入を呼びかけ。
- ・回収物はブックオフが運営する仕組みにより、リユース・リサイクルや寄付へと循環。

○POC の狙いと期待される成果

- ・顧客価値の向上

トランクルームの荷物保管の利便性に加え、不用品処理をスマートに行える動線提供。

- ・SDGs/ESG への貢献

循環型社会の推進「すてない選択」への参画。

- ・アメニティの向上と地域貢献

地域コミュニティへの環境啓発と利便性の訴求。

- ・運用データの蓄積

回収量や品目分類、利用者属性などのデータを把握し、今後の展開に活用。

- ・拡張性検証

成果次第で店舗・施設全体への横展開や、他企業との連携可能性の検討。

○SDGs との関連（注目視点）

- ・ SDGs11（住み続けられるまちづくりを）：地域資源循環への参加と環境配慮。
- ・ SDGs12（つくる責任・つかう責任）：従来の消費・廃棄を減らす取り組み。衣料品・雑貨のリユース・リサイクル促進。
- ・ SDGs17（パートナーシップ）：企業間連携による新たなビジネスモデル創造。



○今後の展開予定

POC の成果を分析したうえで、都心部を中心としたトランクルーム拠点への導入可能性を検討。

以上